

海外オーケストラのソリストを迎えて [シリーズ2]

ダニエル・ゲーデ

元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター



ヴァイオリン・ソロ
ダニエル・ゲーデ

ZUKUNFT ORCHESTER

ツークunft オルケスター

オーケストラ『未来』

第2回 演奏会



指揮
茂木大輔

元NHK交響楽団首席オーボエ奏者

2024年 8月18日 (日)

午後1時20分開場 午後2時開演

栃木県総合文化センター メインホール

全席自由：前売り 2,000円 (当日2,500円)

指揮 茂木大輔

モーツァルト

歌劇「イドメネオ」序曲 K.366

メンデルスゾーン

「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64」

ヴァイオリン・ソロ：ダニエル・ゲーデ

ベートーヴェン

「交響曲第3番 変ホ長調 作品55《英雄》」

ゲスト・コンサートマスター：ダニエル・ゲーデ



公益財団法人栃木県ひとり親家庭
福祉連合会に、チケット売上の10%を
寄付いたします。

各セクショントレーナー



田口美里 (Vn)
東京都交響楽団



松岡陽平 (Vc)
岡山フィルハーモニック管弦楽団



牛腸和彦 (Tp)
第4回マロニエコンクール最優秀賞受賞



菅原恵子 (Fg)
NHK交響楽団

※トレーナーは、指導のみで本演奏会には参加していません。

●主催：オーケストラ『未来』

●協賛：北押原室内管弦楽団

●後援：栃木県 栃木県教育委員会 宇都宮市 宇都宮市教育委員会 (株)とちぎテレビ (株)栃木放送

(株)エフエム栃木 (株)下野新聞社 (株)朝日新聞宇都宮総局 (株)栃木リビング新聞社 栃木県交響楽団

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、手のアルコール消毒、客席内でのマスク着用を推奨いたします。感染の状況によりやむを得ず演奏会開催を
中止または延期する場合がございます。ご来場前にオーケストラ『未来』のホームページ(<https://zukunft-kitakan.com>)にてご確認ください。

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

[プレイガイド] 宇都宮市文化会館、栃木県総合文化センター、那須野が原ハーモニーホール、
かぬまケーブルテレビホール (鹿沼市民文化センター)

[チケット取り扱い所] NPO法人宇都宮ピアノ研究会、(株)オオノ楽器栃木本店・宇都宮店

[お問い合わせ先] オーケストラ『未来』実行委員会 090-3471-4538 小太刀



ダニエル・ゲーデ (ヴァイオリン)

1966年ハンブルグ生まれ。ドイツ国内コンクールの他、カール・フレッシュ国際コンクール等で数々の賞を受賞。86年にクラウディオ・アバドの主催するEUユース・オーケストラのコンサートマスターに就任し、本格的な演奏活動を開始、世界各地で演奏を行う。89年ベルリン芸術アカデミーより「ヨーゼフ・ヨアヒム賞」を授与され、92年にはカーネギーホールにデビュー。ソリストとして、ロイヤル・アルバート・ホール、ウィーン楽友協会ホールなどで演奏、ウィーン・フィルをはじめとする世界の著名オーケストラと共演する。94年、僅か28歳の若さでウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。ウィーンで学んだ経験がない音楽家として初めてウィーン・フィルのコンサートマスターに抜擢されたことは世界中で大きな話題となった。室内楽演奏にも力を入れ、定期的に公演を行っており、トーマス・ゼルディッツ(ヴィオラ)、アンドレアス・グレーガー(チェロ)(ともにベルリン国立歌劇場管弦楽団首席奏者)と結成した「ゲーデトリオ」は世界的な人気を誇る。ドイツ・グラモフォン、ラルゴ等のレーベルよりCDをリリースしている。94年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団においてコンサートマスターを務める。2000年よりニュルンベルグ音楽大学教授となり後進の指導や育成にも熱心に取り組んでいる。日本でもソロ、室内楽の演奏やマスタークラス等に加え、毎年夏に開催される「若い芽のアンサンブルin 軽井沢」の音楽アカデミーに出演している。13年より読売日本交響楽団のコンサートマスターを務めた。2016年よりベルリン・バロック・ゾリステンのアーティスティック・ディレクターに就任。2018年、世界の一流指導者が子供達に1週間のレッスンをを行い、技術だけでなく心の変化まで呼び起こすNHKの人気番組、「奇跡のレッスン」に出演し、好評を博した。



茂木大輔 (指揮者)

国立音大在学中からフリー・ジャズ、ミニマル、前衛音楽、即興、民族音楽、タモリ、筒井康隆などに傾倒し、山下洋輔トリオの追っかけとなる。草津でのパッシン教授との劇的な出会いから電撃でミュンヘン音大に留学。バッハの教会音楽を多数演奏してその魅力に取り憑かれた。1986年からシュトゥットガルト・フィルの第1オーボエ奏者を経て、1990年NHK交響楽団首席オーボエ奏者として帰国。以後リサイタル、室内楽、音楽祭、数多くのCD、ジャズとのコラボレーション、執筆、テレビ・ラジオへの出演など多方面で活躍。1996年からは指揮活動も開始し、解説コンサートで全国的に活躍。マンガ、落語好きでも知られ、自らの企画・指揮による「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」を全国展開。2019年3月にN響を定年退職するとともに、専業の指揮者としての活動を開始した。現在までに仙台フィル、群響、日本センチュリー、兵庫PAC、九響、シエナ、東京混声合唱団など多数の団体を指揮している。2009年より東京音楽大学にて指揮を広上淳一氏に師事。また、故・岩城宏之、および故・外山雄三の各氏にも教えを受けている。執筆でも知られ、「交響録・N響で出会った名指揮者たち」(音楽之友社)など多数の著書がある。日本有数のプラモデル愛好家・コレクターとして知られ、タミヤの田宮俊作会長、春風亭昇太(落語)氏など、模型を通じて各方面に交友を広げている。



水越久夫 (練習指揮者)

宇都宮大学工学部電気工学科および教育学部音楽科卒業。作曲を飯田隆氏、指揮法を佐藤功太郎氏、打楽器を佐藤秀彦氏、高橋美智子氏に師事。昭和54年度文化庁芸術家国内研修員として指揮法を研鑽。宇都宮大学管弦楽団、栃木県交響楽団、宇都宮市室内アンサンブル、宇都宮ジュニアオーケストラの指揮者を歴任し定期演奏会等の指揮をするほか、オペラ、ミュージカル、邦楽など様々な分野での指揮活動を行う。「栃木県警察の歌」「宇都宮市男女共同参画讃歌」「宇都宮市立ゆいの杜小学校校歌」を作曲。現在栃木県交響楽団理事長北押原室内管弦団第6・7回演奏会の指揮を担当。オーケストラ『未来』の第1回演奏会の練習指揮を担当、各団員の技術やアンサンブルの向上に力を注いでいただいた。

オーケストラ『未来』

オーケストラ『未来』の母体は、北押原室内管弦楽団です。このなじみのない2団体については以下の通りです。北押原室内管弦楽団は、2015年に結成されました。各団員は、栃木県交響楽団や県内、埼玉、東京などのアマチュアオーケストラに所属しています。毎年11月初旬前後に各所属団体の練習予定を避けながら、鹿沼市北押原地区センターの多目的ホールに集い無料の演奏会を行なっています。夢は大きく、将来的に海外の一流オーケストラの奏者と共演をしたいとの目標を持っていました。昨年3月にその夢が現実のものとなり、ドレーステン国立歌劇場のコンサートマスターをお迎えし有料のコンサートが実現いたしました。今回も頼川さんのご紹介により、この演奏会が実現する事になりました。オーケストラ『未来』の名付け親は元ウィーン・フィルの名ソロ・ヴィオラ奏者のハインリヒ・コル氏です。私たちは、アドバイザー(トレーナー)をお迎えし、アンサンブルや演奏技術の向上を図って行く所存です。ご支援のほど宜しくお願いいたします。